

製品名: シスタチン SA ウサギ ポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09699**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:20000-1:40000

分子量

抗原情報

遺伝子名	CST2
別名	CST2; Cystatin-SA; Cystatin-2; Cystatin-S5
遺伝子 ID	1470.0
SwissProt ID	P09228
免疫原	抗血清はヒト CST2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 11-60

背景

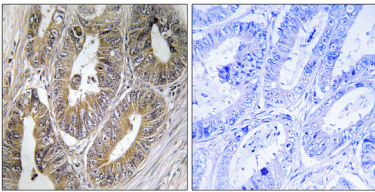
シスタチンスーパーファミリーは、複数のシスタチン様配列を含むタンパク質を包含する。メンバーの中には活性システインプロテアーゼ阻害剤であるものもあれば、阻害活性を失っているもの、あるいはそもそも阻害活性を獲得していないものもある。このスー

パーファミリーには、1型シスタチン（ステフィン）、2型シスタチン、キニノーゲンの3つの阻害ファミリーが含まれる。2型シスタチンタンパク質は、様々なヒトの体液や分泌物中に見られるシステインプロテアーゼ阻害剤の一種であり、保護機能を発揮すると考えられている。20番染色体上のシスタチン遺伝子座には、2型シスタチン遺伝子と擬似遺伝子の大部分が含まれる。この遺伝子はシスタチン遺伝子座に位置し、唾液、涙液、精漿中に高濃度で存在する分泌型チオールプロテアーゼ阻害剤をコードしている。[RefSeq 提供、2008年7月],機能:チオールプロテアーゼ阻害剤,類似性:シスタチンファミリーに属する,組織特異性:顎下腺と耳下腺でのみ発現する,

研究分野

-

画像データ



CST2抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。